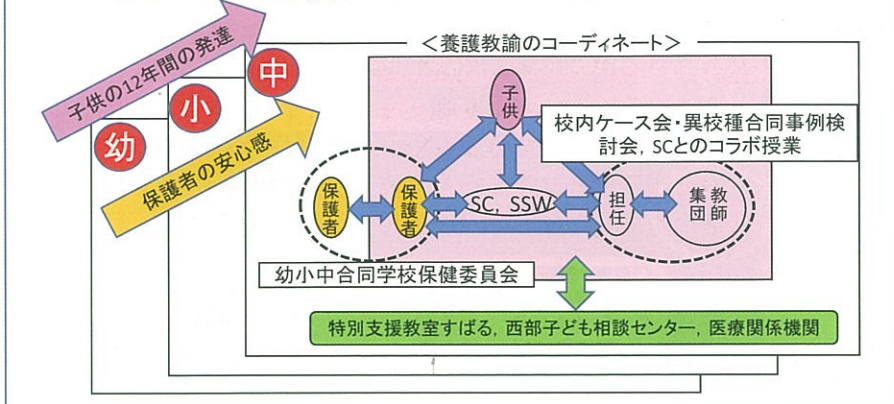


幼小中の養護教諭とスクールカウンセラー（SC）、
スクールソーシャルワーカー（SSW）がコラボして

附属坂出学園学校医 佐藤医院
佐藤融司先生より

12年間の子供と保護者の心の支援部の構想



附属坂出学園は幼小中12年間一貫した教育ができるという特徴を活かして、幼稚園からスクールカウンセラーが配置され、子供たちの心の支援をしています。これは大きなメリットで、学校保健安全委員会において、幼小中すべての保護者が参加され、子供たちのいろいろな心の問題を提起して、研修を続けていることは素晴らしいことだと評価できます。



幼小中合同研修 学校保健安全委員会「子供のよさを見つける」

11月13日（水）に、附属坂出小学校で幼・小・中合同の学校保健安全委員会があり、約40人の保護者の参加がありました。藤澤SSW、入江SC、田中SCのリードにより「子供の強みを見つけよう」というグループワークを行いました。人はつつい「できないこと」に焦点をあてがちですが、自分や子供が今できていること、取り巻く資源に着目し、参加者でシェアリングを行いました。参加した保護者からは、「個人の強みと環境の強みの両方があることが大切だと思いました。」「子供の良さを再確認できるととても良い機会になりました。」「様々な学年・校種の保護者の方と話ができて、とても参考になりました。」等の声が聞かれました。参加者の皆様、お忙しいところご参加いただき、たくさんの温かいご意見をありがとうございました。



藤澤SSW, 入江SC, 田中SCからのアドバイス

SCの専門性を活用した「コミュニケーションプログラム」

小学校では6年生を対象としたコミュニケーションプログラム「考え方のクセ、ゆがみ（ユガミン）と上手に付き合おう」を行いました。授業では、心と身体のチェックを行い、自分のストレスを視覚化してみました。そして、自分のユガミンを知り、考え方を柔軟にすることで、より自分らしくのびのびと過ごせることが分かりました。6東、西の子供たちに共通するユニークな点は、授業内で用意したユガミンだけでなく「先生！こんなユガミンもあるよ。」と、予想もしない面白い意見をたくさん出してくれたことです。次回も、6年生のあっと驚く意見が聞けることを楽しみにしています。



自分のユガミンについて考えている様子